

# 公開講座 「原発廃止のために」

## — 原発と明日の社会 —

日時：4月26日（土）1時半—4時

主催：日本科学者会議、日本科学者会議宮城支部、東北

大学職員組合、原発問題住民運動宮城県連絡センター

場所：東北大学金属材料研究所2号館講堂（北門右）

### 講師

・東北大学教授 明日香 壽川氏

### 「原子力発電は温暖化対策の答えではない」

温暖化対策としての原子力発電に関しては、様々な「誤解」がある。典型的なのは、「原子力発電は温暖化対策に必要不可欠」というものだ。しかし、このような誤解が生まれたのには理由があり、政治的背景がある。この点を中心に、日本および世界のエネルギー・ミックスの問題を原子力発電や温暖化のリスクやコストの側面から考える。

聴

・東北大学名誉教授 井原 聡氏

### 「原発は豊かな生活を約束しない」

原発は国家的一大プロジェクトとして推進されてきた。その歴史はすでに60年になろうとしている。近年では毎年数千億円の国家予算と莫大な電気料金によって湯水のような開発費と原発推進費が投じられてきた。その結果が福島原発災害となり、その処理に膨大な予算と時間と放射能被曝をともなう苛酷な作業が残された。それにも関わらず、政府はベースロードと称して原発再稼働を企図して、その先に未来があるかのように主張している。かつて先人達は人類の福祉に貢献するものと信じて「原子力の平和利用」を掲げてきた。ひとまず立ち止まって原子力利用が豊かな未来を約束するのかについて考えて見たい。

資料代を¥300いただきます。

問合せ：宮城県高教組（022-234-1335,桜井）

